

# 世田谷区教育の情報化推進計画（令和6年度～令和10年度）【概要版】

## 世田谷区教育振興基本計画（令和6年度～令和10年度）

### 第1章 計画策定の基本的な考え方

1. 第2次世田谷区教育ビジョンを振り返って
2. 教育振興基本計画の位置付け・構成
3. 子どもを主体とした教育への転換
4. 教育目標へとつながる考え方（共に学び、共に育つ上で大切にしたいこと）
5. 教育目標と基本方針

### 第2章 実施計画（行動計画）

#### 基本方針1 新しい知を創造する

- ↳ 2. 知を創造する学びの推進 - ②教育DXの更なる推進
- ↳ 7. 学校への支援と働き方改革 - ②教育DXの更なる推進

## 世田谷区教育の情報化推進計画（令和6年度～令和10年度）

### 第1章 教育DX推進に向けた基本的な考え方とこれまでの総括

1. 基本的な考え方
2. これまでの教育情報化推進状況及び取組みの総括

### 第2章 目指すべき方向性

1. 学びの転換（一人ひとりが自ら考える力を養う学びの実現）
2. 働き方の転換（子どもたちに向き合う時間の拡充）
3. 情報共有の転換（子どもの状況がよくわかる）
4. 支援の転換（必要なサポートを迅速に提供する）

## 将来像の実現に向けた施策

### 第3章 目指すべき将来像の実現に向けた教育DX推進施策

#### 1. 教育データ利活用の推進

- (1)学習者ごとの進捗状況や理解度の確認  
教育ダッシュボードを活用し、教員が児童・生徒の学習進捗状況や理解度を把握し、必要な支援を実施できるようにする。
- (2)個別最適化された学びの提供  
AIドリル学習アプリの活用推進等を通して、学習状況に応じた個別最適な学びを促進する。
- (3)児童・生徒や保護者とのコミュニケーションの改善  
教育ダッシュボードを活用し、児童・生徒や保護者が学習状況や進捗状況を確認できるようにする。

#### 4. 働き方改革の推進

- (1)学習系・校務系のネットワーク環境の統合による利便性の向上  
教員が授業で利用する学習系ネットワークと成績処理などで利用する校務系ネットワーク環境の統合を進める。
- (2)教員リモートワーク環境の整備及び推進  
教員が学校内外で様々な業務を実施できる環境の整備を図る。
- (3)デジタル採点システムの導入  
一部の学校に試行導入したデジタル採点システム段階的に拡充する。
- (4)Web会議ツール等を活用したコミュニケーションの向上及び活性化の推進  
Web会議ツール等によるコミュニケーション活性化を推進する。

#### 2. 教員のICT活用指導力の向上

- (1)新たなデジタル教材やICTツール及びクラウドサービスの利用促進  
教員が児童・生徒にさらに効果的な指導を行えるよう、新しいデジタル教材やクラウドサービスの導入に向けた取組みを進める。
- (2)研修の企画・開催  
タブレット端末を活用した授業スキルの向上に向けて、教員同士での情報共有や実践に重点を置いた効果的な研修を企画・開催する。
- (3)教員同士のコミュニケーションの向上  
教員向けのコミュニケーションツールの活用推進を図るとともに、ICTインフルエンサーによる教員間での課題解決やスキルアップを図る。

#### 5. 生成AIの教育利用の促進

- (1)生成AIの教育利用に関する区の基本的な考え方  
これからの時代を生きる子どもたちが生成AIを効果的に使いこなすための能力を育成する。
- (2)生成AI活用の適否に関する考え方  
区として「活用が考えられる例」と「適切ではないと考えられる例」を示し、生成AIの適切な教育利用を促進する。
- (3)教育現場における生成AI利用に際して留意すべき事項  
教育現場において生成AIを利用する際の留意事項を明記し、児童・生徒や教員を問わず、適切な利活用を推進する。

#### 3. 児童・生徒の情報活用能力の育成

- (1)基本的なICT活用スキルの育成  
ICT活用に関する基本的なスキルを育成する。
- (2)インターネット上の情報の評価・理解能力の育成  
インターネット上に流通する様々な情報について、信頼性の有無等を児童・生徒が評価できるようにするためのスキルを育成する。
- (3)情報セキュリティとプライバシー保護の重要性などを学ぶ機会の拡充  
安全・安心なオンライン行動を取れるようにするための能力の育成を図る。
- (4)デジタル・シチズンシップ教育の推進  
オンライン上での適切な行動やコミュニケーション等の行動規範を確立する。

#### 6. ICT機器の安定運用及び確実なリプレースの実施（老朽化対応）

- (1)機器更新の方針  
ICT機器の確実なリプレース(老朽化対応)に向けた方針を示す。
- (2)現状把握  
計画的かつ効率的なリプレース実施に向け、ICT機器の現状を把握する。
- (3)リプレース作業の実施  
機器更新方針や現状把握結果等を踏まえ、リプレース作業を実施する。
- (4)教員、児童・生徒への周知・説明  
機器リプレースに伴う変化を事前に周知・説明し、教員や児童・生徒がリプレースに伴う変化に適切に対応できるようにする。

### 教育DX推進の全体イメージ

#### 児童・生徒

##### 学びの転換

一人ひとりが自ら考える力を養う学びの実現



#### 教員

##### 働き方の転換

子どもたちに向き合う時間の拡充



#### 保護者/地域

##### 情報共有の転換

子どもの状況がよくわかる



#### 教育委員会事務局

##### 支援の転換

必要なサポートを迅速に提供する



子どもたちのために教員、区教委、保護者が緊密に連携して支援していくための様々な仕組みの転換